

資料名「あったかいね」

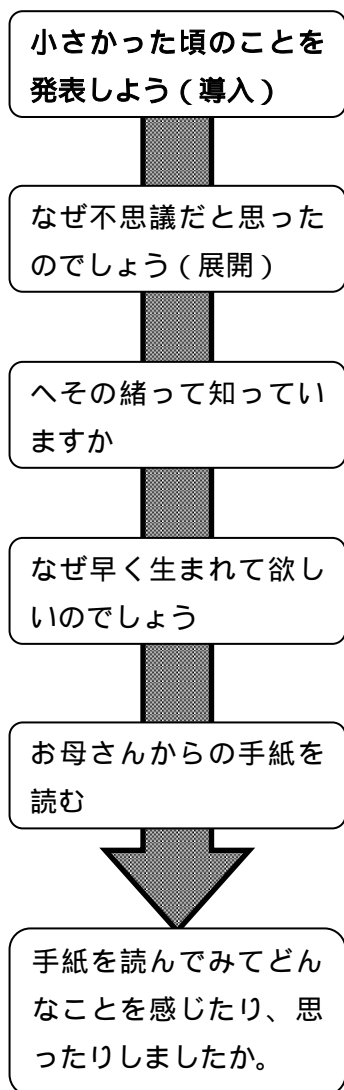
■ 目 標

・生命尊重の精神は、すべての道徳性の根源である。しかし、生命尊重の精神を子どもたちに理解させることは容易ではない。この学習を通して命の大切さを学び、成長している自分に喜びを感じ、さらに自分を伸ばし、よりよく生きようとする願いや態度を育てたい。

■ コンピュータを活用する利点

道徳の授業において、子どもたちが自分自身の思いを語っていくことは、自分の内面を見つめ自己の変革へ繋げるのに大切な要素となる。そこで、短時間で自然に授業に引き込む手段として活用した。

■ 授業の流れ



■ ICT 活用場面

子どもたちにとって、生まれた時や小さい頃の記憶はほとんどない。しかし、今回の授業において生まれた時や小さい頃の記憶をたどることは授業のねらいをつかみ、深めていく上において大きな意味を持つ。そこで、視覚を通して感情にうったえやすくするために、生まれた時の赤ちゃんの写真や幼少期の写真を前もって各家庭から借りておき提示することにした。自分自身が登場してくるということで興味の示し方もいつもとは違い、自然に学習へと引き込まれていくことが予想された。



県指定の研究発表会と授業参観も兼ねていたので、参観しておられる方にとっても、微笑ましく、共感を得やすいだろうと考えた。

■ 成果と課題

今回の活用例は、自分たち自身が登場する小さい頃の写真なのでどの映像に対しても子どもたちは興味深く見ていた。また、前もって家族の方からその頃の様子を聞かせておいたので答えやすかっただろう。ICTの活用はいつも今回のようにはいかない。その特性を、最大限に活かし、効果をあげることは簡単なことではない。多忙な教職員にとって、準備の時間も短時間で済むものでなければ授業でのICTの活用がなかなか広まらない。各学校でリテラシー面と効果的な場面での活用がマネジメントできる職員の育成が急務であると考える。

■ ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクター
使用ソフト名	パワーポイント
使用教室	普通教室